

# 12月定例会一般質問通告



# 生活保護・セルフネグレクト・医療・幼稚園等で質問

## 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党米原市議員  
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

### 山脇議員の一般質問

予定日時・12月7日2人目  
(9番目)・10時頃

#### 質問概要

- 1、貧困の拡大と権利としての生活保護について
- 2、関与を拒否する要支援者の現状と対策について
- 3、口腔崩壊につながる子どもの歯科治療要受診者の未受診について

12月定例会の一般質問の発言通告が締め切られました。新人議員を含め14名が質問に立ちます。日本共産党米原市議団の質問の概要と予定日時は次の通りです。

#### の抱える問題

- 3/コロナ禍で子どもの歯科治療要受診者の未受診が増えている。具体的な対応は。

○医療費無料化となっているが、歯科矯正の治療費は。○不登校、障がいのある子の歯科検診は。

### 藤田議員の一般質問

予定日時・12月7日7人目  
(最後の14番目)・15時頃

#### 質問概要

- 1、コロナ禍での米原市の医療の現状について問う。
- 2、幼稚園の在り方検討委員会の市民アンケートについて問う。
- 3、三島池周辺の維持管理、改修等の計画について問う。

### ぜひ傍聴してみたいから

○一方では米原駅東口に「こども園」が計画されている。市全体で検討すべきでは。  
3/三島池の西側、三島神社から北側「おなごだめ」までの管理ができていない。また石畳も木の根っこが繁殖して浮き上がり危険だ。  
○三島神社からの三島池・伊吹山の景観が多くの市民や観光客が訪れている。ベンチ等の整備は。

議場は本庁舎5階です。傍聴される方は庁舎駐車場で2時間を超えても無料となりますので、議会事務局にお尋ねください。  
全議員の質問テーマは、次のQRコードのとおりです。



- 質問のポイント
- 1/コロナ特例貸付(2年間で676件)や生活困窮者自立支援金給付者(107世帯)の多くが生活保護の対象となると考えるが生活保護利用者が増えていない。その理由は。
  - 生活保護拒否の理由に扶養紹介があるといわれている。米原市の運用と実態は。
  - 多くの市では「生活保護は権利です。ためらわずに申請を」のポスターが作成されている。米原市の対応は。
  - 2/米原市におけるセルフネグレクト実態は。その対応は。
  - 「8050問題」との関連は。
  - ※80歳代の親と50歳代の単身の子どもが同居する家庭
- 質問のポイント
- 1/市民は今の米原市の医療の現状に不安を持っている。住民運動も起きている。どう考えるのか。
  - 医師の不足や偏在についての対応は。
  - コロナ禍が続く中での今の対応でいいのか。
  - 2/山東幼稚園の今後在り方でアンケートが出されている。住民が不安になっている。経過は。



**雑感** 18歳以下の子どもがいる家庭に1人10万円の支援金を支給することが閣議決定された。児童手当の所得制限を使い、児童手当を支給している家庭は5万円は現金で、残りの5万円はクーポンで払うとしている。半額をクーポンにしたため事務費が900億円余計にかかるらしい。そのまま現金で口座振り込みすれば、300億円で済む。自民党と公明党の政治的な駆け引きの結果、クーポン利用にこれだけかかってしまう。税金の無駄遣いは本当に許せない。これからの時期、多くの企業が社員の年末調整を行う。また確定申告も始まる。これらの機能を利用して、一旦対象者全員に支払い、高額所得者などは税金に加算させるなどの制度を作れないか。いろいろ考えてしまう。しかし政府はすぐにマイナンバーカードを結びつけようとする。年末調整や確定申告など今まで税の中で確立した制度を利用する方が、安心に決まっている。長期的になぜ考えないのだろうか？